

# Johann Sebastian Bach

## Matthäus Passion

J.S.バッハ マタイ受難曲 BWV.244

### 歌詞対訳

山響アマデウスコア

仙台宗教音楽合唱団

盛岡バッハ・カンタータフェライン

指揮：佐々木正利

管弦楽：山形交響楽団

五郎部 俊郎（福音史家, T） 小森 輝彦（イエス, B）

朴 瑛実（S） 谷地畝 晶子（A） 鏡 貴之（T） 佐々木 直樹（B）

2020年 5月4日 山形公演 (山形市民会館)

5月5日 仙台公演 (萩ホール)

5月6日 盛岡公演 (岩手県民会館)

※ 演奏中は ページを静かにおめくり下さいますよう お願い申し上げます

## 第I部

### Nr.1 二重合唱 & コラール

Kommt, ihr Töchter,  
helft mir klagen,  
Sehet –

Wen?

den Bräutigam,  
Seht ihn –

Wie?

als wie ein Lamm!

来なさい、娘たちよ、  
私の嘆き・訴えを聴いてください。  
見て下さい –

誰を？

花婿を。  
彼を見て下さい –

どのような？

子羊のような！

<Choral> 詞曲：ニコラウス・デーツイス 「O Lamm Gottes unschuldig」 第1節

O Lamm Gottes, unschuldig  
am Stamm des Kreuzes geschlachtet,

おお、神の子羊よ、罪無くして  
十字の幹に屠られた(御方よ)

Sehet,

Was?

seht die Geduld,

見て下さい、

何を？

彼の忍耐を。

allzeit erfunden geduldig,  
wiewohl du warest verachtet.

常に、企みにあっても、耐え忍ばれました。  
あなたは、どんなに侮られたにもかかわらず。

Seht –

Wohin?

auf unsre Schuld;

留意しなさい –

どこに？

私たちの罪に。

All' Sünd' hast du getragen,  
sonst müssten wir verzagen.

全ての罪をあなたは背負われました。  
さもなければ私達は絶望していたに違いありません。

Sehet ihn aus Lieb und Huld  
Holz zum Kreuze selber tragen!

彼を見て下さい。愛と慈しみの故に、  
十字の木柱を背負っている彼を！

Erbarm dich unser, o Jesu!

私たちを憐れんで下さい、おおイエスよ！

### <受難の予言とイエスに対する謀議>

#### Nr.2 (Matthäus 26:1-2)

福音史家： Da Jesus diese Rede vollendet hatte,  
sprach er zu seinen Jüngern:

イエスはこれらの言葉を語り終えると、  
弟子たちに言った。

イエス： Ihr wisset,  
dass nach zweien Tagen Ostern wird,  
und des Menschen Sohn  
wird überantwortet werden,  
dass er gekreuziget werde.

お前たちも知っている通り、  
二日後は過越となる。  
そして、人の子は  
ひき渡されるだろう、  
十字架につけられるために。

#### Nr.3 コラール 旋律A：ヨハン・クリューガー、 詞：ヨハン・ヘールマン 「Herzliebster Jesu」 第1節

Herzliebster Jesu,  
was hast du verbrochen,  
dass man ein solch scharf Urteil  
hat gesprochen?  
Was ist die Schuld,  
in was für Missetaten bist du geraten?

心より愛するイエスよ、  
何の罪を犯したのですか、  
そんな厳しい判決を  
言い渡されたとは？  
罪は何なのですか、  
どのような悪事にあなたは陥ったのですか？

**Nr.4a** (26:3-5)

福音史家 : Da versammelten sich die Hohenpriester und Schriftgelehrten und die Ältesten im Volk in den Palast des Hohenpriesters, der da hieß Kaiphas, und hielten Rat, wie sie Jesum mit Listen griffen und töteten. Sie sprachen aber:

そのころ、祭司長たちや律法学者および民の長老たちは、カイファという名の、大祭司の屋敷に集まり、どのような計略で、イエスを捕らえ殺そうか、と協議した。そこで彼らは言った。

**Nr.4b** (26:5) 二重合唱 (祭司長たち、および律法学者・長老たち)

**Ja nicht auf das Fest,  
auf dass nicht ein Aufruhr werde im Volk.**

そうだ、祭の間はいけな、民衆の中で騒ぎが起きないようにしよう。

**<香油を注ぐベタニアの女>**

**Nr.4c** (26:6-8)

福音史家 : Da nun Jesus war zu Bethanien, im Hause Simonis des Aussätzigen, trat zu ihm ein Weib, die hatte ein Glas mit köstlichem Wasser und goss es auf sein Haupt, da er zu Tische saß. Da das seine Jünger sahen, wurden sie unwillig und sprachen:

さて、イエスが、ベタニアで、癩病人シモンの家に行った時、一人の女が、高価な香油の入ったガラス容器を持って、彼に近寄り、イエスの頭に香油を注いだ。それは彼が食卓に着いていた時だった。すると、イエスの弟子たちはそれを見て、腹を立てて言った。

**Nr.4d** (26:8-9) 合唱 I (弟子たち)

**Wozu dienet dieser Unrat?  
Dieses Wasser hätte mögen  
teuer verkauft  
und den Armen gegeben werden.**

何のために、こんな無駄使いをするのか？この香油は高く売られて、貧しい人々に施しとして与えられたらうに。

**Nr.4e** (26:10-13)

福音史家 : Da das Jesus merketete, sprach er zu ihnen:

すると、イエスはそれに気づいて、弟子たちに言った。

イエス : Was bekümmert ihr das Weib? Sie hat ein gut Werk an mir getan. Ihr habet allezeit Armen bei euch, mich aber habt ihr nicht allezeit. Dass sie dies Wasser hat auf meinen Leib gegossen, hat sie getan, dass man mich begraben wird. Wahrlich, ich sage euch: Wo dies Evangelium geprediget wird in der ganzen Welt, da wird man auch sagen zu ihrem Gedächtnis, was sie getan hat.

なぜ、お前たちはこの女を困らせるのか？彼女は私に良い事してくれたのだ。貧しい人々は常にお前たちの周りにはいるが、私は常にお前たちと一緒にいるわけではない。彼女が香油を私の体に注いだのは、私が葬られるためにしてくれた事なのだ。まことに、お前たちに言うておく、この福音が宣べ伝えられるであろう所では世界中どこでも、彼女のしてくれたこともまた、彼女の記念として語り伝えられるだろう。

**Nr.5** レチタティーヴォ (アルト)

Du lieber Heiland, du,  
wenn deine Jünger töricht streiten,  
dass dieses fromme Weib  
mit Salben deinen Leib  
zum Grabe will bereiten,  
so lasse mir inzwischen zu,  
von meiner Augen Tränenflüssen  
ein Wasser auf dein Haupt zu gießen!

愛する救い主であるあなた、あなたの弟子たちは愚かにも言い争いました、この敬虔な女があなたの身体に香油を塗ることによって墓へ葬る準備をしたことについて。それでも、私にお許し下さい、私の目から流れる涙の一滴をあなたの御頭に注ぐことを。

## Nr.6 アリア (アルト)

Buß' und Reu'  
knirscht das Sündenherz entzwei,  
dass die Tropfen meiner Zähren  
angenehme Spezerei,  
treuer Jesu, dir gebären.

懺悔と後悔は まし  
この罪深い心を軋ませ二つに引き裂きます。  
そして私の涙の滴は  
心地よい香料となって、  
誠実なイエスよ、あなたに注がれるのです。

## <ユダの裏切り>

### Nr.7 (26:14-16)

福音史家 : Da ging hin der Zwölfen einer  
mit Namen Judas Ischarioth  
zu den Hohenpriestern und sprach:

その頃、十二人の一人で  
イスカリオテのユダという名の者が、  
祭司長たちの所へ行き、言った。

ユダ : Was wollt ihr mir geben?  
Ich will ihn euch verraten.

あなた方は私に幾らくれるでしょうか？  
私が彼を裏切ってあなた方に売り渡しましょう。

福音史家 : Und sie boten ihm dreißig Silberlinge.  
Und von dem an suchte er Gelegenheit,  
dass er ihn verriete.

そこで彼らは銀貨三十枚をユダに提供した。  
この時からユダは、  
イエスを裏切る機会を探し求めていた。

## Nr.8 アリア (ソプラノ)

Blute nur, du liebes Herz!  
Ach! ein Kind, das du erzogen,  
das an deiner Brust gesogen,  
droht den Pfleger zu ermorden,  
denn es ist zur Schlange worden.

血を流すがよい、汝、愛する心よ！  
ああ！あなたが育てた、  
あなたの乳を吸った子が、  
その養育者を殺そうと脅かす。  
なぜなら、その子は蛇になってしまったから。

## <最後の晩餐>

### Nr.9a (26:17)

福音史家 : Aber am ersten Tage der süßen Brot  
traten die Jünger zu Jesu  
und sprachen zu ihm:

さて、種なしパンの祭(除酵祭)第一日※に、  
弟子たちがイエスのもとに来て、  
彼に言った。 ※この日の日没後が過越の食事

### Nr.9b (26:17) 合唱 I (弟子たち)

Wo willst du, dass wir dir bereiten,  
das Osterlamm zu essen?

どこに、用意をいたしましょうか  
過越の食事をする所を？

### Nr.9c (26:18-21)

福音史家 : Er sprach:

イエスは言った。

イエス : Gehet hin in die Stadt zu einem  
und sprecht zu ihm:  
Der Meister lässt dir sagen:  
Meine Zeit ist hier,  
ich will bei dir  
die Ostern halten mit meinen Jüngern.

街のある人のところに行って、  
彼にこう言いなさい。  
「先生があなたにこう言っています。  
『私の時が近づいた。  
私はあなたの所で  
弟子たちと一緒に過越をしたい』と。」

福音史家 : Und die Jünger täten,  
wie ihnen Jesus befohlen hatte,  
und bereiteten das Osterlamm.  
Und am Abend  
satzte er sich zu Tische mit den Zwölfen.  
Und da sie aßen, sprach er:

弟子たちは、  
イエスが命じたとおりにして、  
過越の食事を準備した。  
晩になると、  
イエスは十二人と一緒に食卓に着かれた。  
一同が食事をしているとき、イエスは言われた。

イエス : Wahrlich, ich sage euch:

まことに、お前たちに言っておく。

Einer unter euch wird mich verraten.

お前たちのうちの一人が私を裏切るだろう。

**Nr.9d** (26:22)

福音史家 : Und sie wurden sehr betrübt und huben an,  
ein jeglicher unter ihnen, und sagten zu ihm:

弟子たちは非常に悲しんで、  
各々それぞれ、イエスに対して言い始めた。

**Nr.9e** (26:22) 合唱 I (弟子たち)

Herr, bin ich's?

主よ、それは私ですか？

**Nr.10** コラール 旋律B : ハインリヒ・イザーク、 詞 : パウル・ゲルハルト 「 O Welt, sieh hier dein Leben 」 第 5 節

Ich bin's, ich sollte büßen,  
an Händen und an Füßen  
gebunden in der Höll.  
Die Geißeln und die Banden  
und was du ausgestanden,  
das hat verdienet meine Seel'.

それは私です、私が償うべきなのです。  
両手、両足を  
地獄の中で縛られるべきなのです。  
鞭打ちと縄、  
そしてあなたが耐え忍ばれた苦難、  
私の魂は、それを当然受けるべきだったのです。

**Nr.11** (26:23-29)

福音史家 : Er antwortete und sprach:

イエスは答えて言った。

イエス : Der mit der Hand mit mir  
in die Schüssel tauchet,  
der wird mich verraten.  
Des Menschen Sohn gehet zwar dahin,  
wie von ihm geschrieben stehet;  
doch wehe dem Menschen,  
durch welchen des Menschen Sohn  
verraten wird!  
Es wäre ihm besser, dass derselbige Mensch  
noch nie geboren wäre.

私とともに  
鉢に手を浸している者、  
その者が私を裏切るだろう。  
確かに、人の子は去って行く、  
聖書に書かれてあるとおりに。  
だが、その者は哀れた..  
人の子を裏切る  
その者は！  
彼にとって、より良かったのは、  
彼自身が生まれてこないことだったので...

福音史家 : Da antwortete Judas, der ihn verriet,  
und sprach:

すると、イエスを裏切ったユダが  
答えて言った。

ユダ : Bin ich's, Rabbi?

先生、それは私ですか？

福音史家 : Er sprach zu ihm:

イエスは彼に言った。

イエス : Du sagest's.

お前がそう言うのか。

福音史家 : Da sie aber aßen, nahm Jesus das Brot,  
dankete und brach's,  
und gab's den Jüngern und sprach:

一同が食事をしている時、イエスはパンを取り、  
感謝して、それを裂き、  
弟子たちに与えて言った。

イエス : Nehmet, esset, das ist mein Leib.

取って食べなさい。これは私の体である。

福音史家 : Und er nahm den Kelch und dankete,  
gab ihnen den und sprach:

また、杯を取り、感謝して、  
彼らに与えて言った。

イエス : Trinket alle daraus;  
das ist mein Blut des neuen Testaments,  
welches vergossen wird  
für viele zur Vergebung der Sünden.  
Ich sage euch:  
Ich werde von nun an nicht mehr

皆、この杯から飲みなさい。  
これは、新しい契約のための私の血、  
多くの人にとって罪の許しのために  
流される血である。  
お前たちに言うておく。  
私は今より後、葡萄から作られた

von diesem Gewächs des Weinstocks trinken  
bis an den Tag, da ich's neu trinken werde  
mit euch in meines Vaters Reich.

このような酒を飲むことは決してないだろう。  
私の父の国で、お前たちとともに、  
新たに飲むであろう、その日まで。

## Nr.12 レチタティーヴォ (ソプラノ)

Wiewohl mein Herz in Tränen schwimmt,  
dass Jesus von mir Abschied nimmt,  
so macht mich doch sein Testament erfreut:  
Sein Fleisch und Blut, o Kostbarkeit,  
vermacht er mir in meine Hände.  
Wie er es auf der Welt mit denen Seinen  
nicht böse können meinen,  
so liebt er sie bis an das Ende.

私の心は涙の中を漂っています。  
イエスが私に別れを告げているからです。  
それにもかかわらず、彼の契約は私を喜ばせます。  
彼の肉と血、おお、この尊いものを  
彼は私の手に遺してくれたのです。  
彼は、この世で彼とともに在った者を  
悪く思うことなどできなかったように、  
世の終わりまで、彼らを愛して下さるのです。

## Nr.13 アリア (ソプラノ)

Ich will dir mein Herze schenken,  
senke dich, mein Heil, hinein!  
Ich will mich in dir versenken;  
ist dir gleich die Welt zu klein,  
ei, so sollst du mir allein  
mehr als Welt und Himmel sein.

私はあなたに私の心を捧げます。  
降りてきて下さい、私の救いよ、私の中に！  
私はあなたの中に身を沈めます。  
あなたにとってこの世が小さすぎようとも、  
そう、私にはあなただけが  
世界や天よりもまさるべきものなのです。

## <オリーブ山での離反の予告>

### Nr.14 (26:30-32)

福音史家： Und da sie den Lobgesang gesprochen hatten,  
gingen sie hinaus an den Ölberg.  
Da sprach Jesus zu ihnen:

そして、彼らは賛美の歌を歌ってから、  
オリーブ山へと出かけて行った。  
その時、イエスは弟子たちに言った。

イエス： In dieser Nacht  
werdet ihr euch alle ärgern an mir.  
Denn es stehet geschrieben:  
Ich werde den Hirten schlagen,  
und die Schafe der Herde  
werden sich zerstreuen.  
Wenn ich aber auferstehe,  
will ich vor euch hingehen in Galiläam.

今夜、  
お前たちは皆、私に躓くだろう。  
聖書にこう書いてあるからだ。  
「私は羊飼いを打つ。  
すると、群れの羊たちは  
散り散りになるだろう」と。  
しかし、私は復活した時には、  
お前たちより先にガリラヤへ行くつもりだ。

### Nr.15 コラール 旋律C：ハンス・レオ・ハスラー、 詞：パウル・ゲルハルト 「O Haupt voll Blut und Wunden」 第5節

Erkenne mich, mein Hüter,  
mein Hirte, nimm mich an!  
Von dir, Quell aller Güter,  
ist mir viel Gut's getan.  
Dein Mund hat mich gelabet  
mit Milch und süßer Kost,  
dein Geist hat mich begabet  
mit mancher Himmelslust.

私を認めてください、私の牧者よ。  
私の羊飼いや、私を受け入れてください！  
すべての宝の泉であるあなたから  
私に多くの良いことが行われました。  
あなたの口は私を元気づけてくれました、  
乳と甘い食べ物によって。  
あなたの霊は私に与えました、  
多くの天国の喜びを。

### Nr.16 (26:33-35)

福音史家： Petrus aber antwortete und sprach zu ihm:

するとペテロが答えてイエスに言った

ペテロ： Wenn sie auch alle sich an dir ärgerten,  
so will ich doch mich nimmermehr ärgern.

たとえ、皆があなたに躓いても、  
私はあなたに決して躓きません。

福音史家： Jesus sprach zu ihm:

イエスは彼に言った。

イエス： Wahrlich, ich sage dir:  
In dieser Nacht, ehe der Hahn krähet,  
wirst du mich dreimal verleugnen.

まことにお前に言っておく。  
今夜、鶏が鳴く前に、  
お前は三度、私のことを否認するだろう。

福音史家： Petrus sprach zu ihm:

ペテロはイエスに言った。

ペテロ： Und wenn ich mit dir sterben müsste,  
so will ich dich nicht verleugnen.

たとえ、あなたと共に死なねばならなくても、  
私はあなたを決して否認しません。

福音史家： Desgleichen sagten auch alle Jünger.

弟子たちも皆、同じように言った。

**Nr.17** コラール 旋律C：ハンス・レオ・ハスラー、 詞：パウル・ゲルハルト 「O Haupt voll Blut und Wunden」 第6節

Ich will hier bei dir stehen;  
verachte mich doch nicht!  
Von dir will ich nicht gehen,  
wenn dir dein Herze bricht.  
Wenn dein Herz wird erblassen  
im letzten Todesstoß,  
als denn will ich dich fassen  
in meinen Arm und Schoß.

私はここで、あなたの側に留まっています。  
どうか私を侮らないで下さい！  
あなたのもとから私は離れません、  
あなたの心が張り裂ける時も。  
あなたの心が、  
最後の死の衝撃で、蒼ざめるであろう時、  
私はあなたをしっかりと抱きましよう、  
私の腕と膝に。

## <ゲッセマネの祈り>

**Nr.18** (26:36-38)

福音史家： Da kam Jesus mit ihnen zu einem Hofe,  
der hieß Gethsemane,  
und sprach zu seinen Jüngern:

イエスは弟子たちと一緒に  
ゲッセマネという園に来ると、  
弟子たちに言った。

イエス： Setzet euch hie,  
bis dass ich dort hingehere und bete.

ここに座っていなさい、  
私が向こうへ行つて祈っている間。

福音史家： Und nahm zu sich Petrum  
und die zween Söhne Zebedäi  
und fing an zu trauern und zu zagen.  
Da sprach Jesus zu ihnen:

そして、ペテロおよび  
二人のゼバダイの子らを連れて行ったが、  
そこで、悲しみ怖れ始めた。  
そして、イエスは彼らに言った。

イエス： Meine Seele ist betrübt bis an den Tod,  
bleibet hie und wachet mit mir!

私の魂は死にそうなくらいに悲しい。  
ここに留まり、私とともに目を覚ましていなさい。

**Nr.19** レチタティーヴォ(テノール)とコラール(合唱Ⅱ)

O Schmerz!  
Hier zittert das gequälte Herz;  
wie sinkt es hin, wie bleicht sein Angesicht!

ああ、苦痛よ！  
苦しめられた心がここに震えている。  
その心は何と崩折れ、御顔は何と蒼ざめていることか！

<Choral> 旋律A：ヨハン・クリューガー、 詞：ヨハン・ヘルマン 「Herzliebster Jesu」 第3節

Was ist die Ursach' aller solcher Plagen? その全ての苦しみの原因は何ですか？

Der Richter führt ihn vor Gericht.  
Da ist kein Trost, kein Helfer nicht.

裁き主は彼を法廷に引き立て、  
そこには慰めも、助ける人もいない。

Ach, meine Sünden haben dich geschlagen; ああ、私の罪があなたを打ったのです。

Er leidet alle Höllenqualen,  
er soll vor fremden Raub bezahlen.

彼はあらゆる地獄の責苦に苦しみ、  
他人の盗みの償いをしなくてはならない。

Ich, ach Herr Jesu, habe dies verschuldet,  
was du erduldet.

主イエスよ、ああ、私がこの罪を犯したのです、  
あなたが耐えておられるその罪を。

Ach, könnte meine Liebe dir,  
mein Heil, dein Zittern und dein Zagen  
vermindern oder helfen tragen,  
wie gerne blieb ich hier !

ああ、私の愛が、できるなら、  
私の救いよ、あなたの震えと怖れを、  
和らげるか、支え助けることができるなら、  
私はどんなに喜んでここに留まることでしょう！

**Nr.20** アリア (テノール) & 合唱Ⅱ

Ich will bei meinem Jesu wachen.

私はイエスの側で目覚めていよう。

合唱 : So schlafen unsre Sünden ein.

そうすれば私たちの罪は眠りこむ。

Meinen Tod büßet seine Seelennot,  
sein Trauren machet mich voll Freuden.

私の死を彼の魂の苦しみが償い、  
彼の悲しみが、私を喜びで満たす。

合唱 : Drum muss uns sein verdienstlich Leiden  
recht bitter und doch süße sein.

故に、彼の功德ある受難は我々にとって  
実に苦いが、また甘くもあるに違いない。

**Nr.21** (26:39)

福音史家 : Und ging hin ein wenig,  
fiel nieder auf sein Angesicht  
und betete und sprach:

そしてイエスは、少し奥へ入って行き、  
跪いて顔をひれ伏して、  
祈って言った。

イエス : Mein Vater, ist's möglich,  
so gehe dieser Kelch von mir;  
doch nicht wie ich will, sondern wie du willst.

我が父よ、できることなら、  
この杯を私から取り去ってください。  
しかし、私のではなく、あなたの望む通りに。

**Nr.22** レチタティーヴォ (バス)

Der Heiland fällt vor seinem Vater nieder;  
dadurch erhebt er mich und alle  
von unserm Falle  
hinauf zu Gottes Gnade wieder.  
Er ist bereit,  
den Kelch, des Todes Bitterkeit zu trinken,  
in welchen Sünden dieser Welt  
gegossen sind und hässlich stinken,  
weil es dem lieben Gott gefällt.

救い主は父の御前にひざまずいた。  
それによって彼は、私と全ての人を、  
我々の墮落から  
神の恵みへと、再び、すくい上げてくださる。  
彼は杯を、死の苦みを飲む  
心構えができています。  
その杯には、この世の罪が  
注がれ、厭うべき悪臭を放っているが、  
これを飲むことが、愛する神の意に適うことだから。

**Nr.23** アリア (バス)

Gerne will ich mich bequemen,  
Kreuz und Becher anzunehmen,  
trink' ich doch dem Heiland nach.  
Denn sein Mund,  
der mit Milch und Honig fließet,  
hat den Grund  
und des Leidens herbe Schmach  
durch den ersten Trunk versüßet.

喜んで私は承知しよう、  
十字架と杯を受けることを。  
もちろん私は救い主にならって、それを飲もう。  
なぜなら、彼の口は、  
そこから乳と蜂蜜が流れ出て、  
それが、大地と  
受難の苦い恥辱とを  
最初のひと飲みで、甘くしてくれたのだから。

**Nr.24** (26:40-42)

福音史家 : Und er kam zu seinen Jüngern  
und fand sie schlafend und sprach zu ihnen:

そしてイエスは弟子たちのところへ戻り、  
彼らが眠っているのを見て、彼らに言った。

イエス : Könnet ihr denn nicht eine Stunde  
mit mir wachen?  
Wachet und betet,

さて、お前たちは、ひと時も  
私とともに目を覚ましていられないのか？  
目を覚まして祈っていなさい！



dass ihr nicht in Anfechtung fallet!  
Der Geist ist willig,  
aber das Fleisch ist schwach.

誘惑に陥らぬように。  
精神はしっかりしていても、  
肉体は弱いものだ。

福音史家： Zum andernmal ging er hin,  
betete und sprach:

さらにもう一度、奥へ入って行き、  
祈って言った。

イエス： Mein Vater, ist's nicht möglich,  
dass dieser Kelch von mir gehe,  
ich trinke ihn denn,  
so geschehe dein Wille.

我が父よ、  
この杯を私から取り去ることがかなわないのであれば、  
私はそれを飲みます、  
あなたの御心が行われますように。

**Nr.25** コラール 旋律：クローダン・ド・セルミジ (仏)、 詞：プロイセン公アルブレヒト

Was mein Gott will, das g'scheh' allzeit,  
sein Will', der ist der beste,  
zu helfen den'n er ist bereit,  
die an ihn gläuben feste,  
Er hilft aus Not, der fromme Gott,  
und züchtigt mit Maßen.  
Wer Gott vertraut, fest auf ihn baut,  
den will er nicht verlassen.

私の神が意図することが、常に行われますように。  
神の意志、それは最良のものなのです。  
神は、助けようと備えているのです、  
神を堅く信じる者たちを。  
彼は苦しみから助けてくれる、誠実な神、  
そして節度をもって懲らしめもする。  
神を信頼し、しっかりと神を礎とする人、  
その人を、神は見捨てないでしょう。

## <イエス捕縛>

**Nr.26** (26:43-50)

福音史家： Und er kam und fand sie aber schlafend,  
und ihre Augen waren voll Schlaf's.  
Und er ließ sie und ging abermal hin  
und betete zum drittenmal  
und redete dieselbigen Worte.  
Da kam er zu seinen Jüngern  
und sprach zu ihnen:

イエスが戻ると、弟子たちが眠っているのを見た。  
彼らの眼は眠気でいっぱいだったのだ。  
そこでイエスは彼らから離れ、また奥へ入って行き、  
三度も祈り、  
同じ言葉を語った。  
それからイエスは、弟子たちのところに戻って来て、  
彼らに言った。

イエス： Ach! wollt ihr nun schlafen und ruhen?  
Siehe, die Stunde ist hie,  
dass des Menschen Sohn  
in der Sünder Hände überantwortet wird.  
Stehet auf, lasset uns gehen!  
Siehe, er ist da, der mich verrät!

ああ、お前たちはまだ眠り休むつもりなのか？  
見よ、時が来た。  
人の子が  
罪人の手に引き渡される時だ。  
立て、行こう！  
見よ、私を裏切る者がそこにいる！

福音史家： Und als er noch redete, siehe,  
da kam Judas, der Zwölfen einer,  
und mit ihm eine große Schar  
mit Schwertern und mit Stangen  
von den Hohenpriestern  
und Ältesten des Volks.  
Und der Verräter hatte ihnen  
ein Zeichen gegeben und gesagt:  
„Welchen ich küssen werde, der ist's,  
den greifet!“  
Und alsbald trat er zu Jesu und sprach:

イエスがまだ話しているうちに、見よ、  
十二人の一人であるユダがやって来た。  
そして彼とともに大勢の群衆が  
剣や棒を持ってやって来た。  
祭司長たちや民の長老たちが  
遣わしたのである。  
この裏切り者(ユダ)は、前もって、  
彼ら(群衆)に合図を与えて、こう言っていた。  
「わたしが口づけするのが、その人だ。  
それを捕まえろ」と。  
ユダはすぐにイエスに近寄り、言った。

ユダ： Gegrüßet seist du, Rabbi!

挨拶を受けて下さい、先生！

福音史家： Und küssete ihn. Jesus aber sprach zu ihm:

そして彼に口づけした。イエスは彼に言った。

イエス： Mein Freund, warum bist du kommen?

我が友よ、なぜあなたは来たのか？

福音史家： Da traten sie hinzu  
und legten die Hände an Jesum  
und griffen ihn.

すると人々は進み寄り、  
イエスに手をかけて  
彼を捕らえた。

**Nr.27a** 二重唱（ソプラノ・アルト） & 合唱 II

So ist mein Jesus nun gefangen.

こうしてイエスは今や捕らえられてしまった。

合唱： Lasst ihn, haltet, bindet nicht !

彼を放せ、やめろ、縛るな！

Mond und Licht  
ist vor Schmerzen untergangen,  
weil mein Jesus ist gefangen.  
Sie führen ihn, er ist gebunden.

月も光も  
心痛のため沈んでしまった。  
私のイエスが捕らえられてしまったから。  
彼らはイエスを連行し、彼は縛られてしまった。

**Nr.27b** 二重合唱

Sind Blitze, sind Donner  
in Wolken verschwunden?  
Eröffne den feurigen Abgrund, o Hölle,  
zertrümmre, verderbe,  
verschlinge, zerschelle  
mit plötzlicher Wut  
den falschen Verräter,  
das mörderische Blut!

稲妻と雷鳴は  
雲のなかに消えてしまったのか？  
火の深淵を開け、おお地獄よ！  
粉々に打ち砕け、破壊せよ、  
飲み込んでしまえ、粉々にしてしまえ、  
突然の激しい怒りでもって、  
偽りの裏切り者を！  
殺人者の血統を！

**Nr.28** (26:51-56)

福音史家： Und siehe,  
einer aus denen, die mit Jesu waren,  
reckete die Hand aus  
und schlug des Hohenpriesters Knecht  
und hieb ihm ein Ohr ab.  
Da sprach Jesus zu ihm:

すると見よ、  
イエスと一緒にいた者の一人が、  
手を伸ばして(剣を抜き)、  
大祭司の手下に打ちかかって、  
彼の片方の耳を切り落とした。  
そこで、イエスはその(切りかかった)者に言った。

イエス： Stecke dein Schwert an seinen Ort;  
denn wer das Schwert nimmt,  
der soll durchs Schwert umkommen.  
Oder meinst du,  
dass ich nicht könnte meinen Vater bitten,  
dass er mir zuschickte  
mehr denn zwölf Legion Engel?  
Wie würde aber die Schrift erfüllet?  
Es muss also gehen.

剣を鞘に収めなさい。  
なぜなら、剣を取る者は、  
剣によって滅びることになっているからである。  
それともお前は、  
私が父にお願いできないと思っているのか？  
(私がお願いすれば)、父は  
十二軍団以上の天使たちを送ってくださるであろう。  
しかしそれでは、聖書はどうして実現されるのか？  
こうならなければならないのだ。

福音史家： Zu der Stund' sprach Jesus zu den Scharen:

またその時、イエスは群衆に対して言った。

イエス： Ihr seid ausgegangen als zu einem Mörder,  
mit Schwerten und mit Stangen,  
mich zu fahen;  
bin ich doch täglich bei euch gesessen  
und habe gelehret im Tempel,  
und ihr habt mich nicht gegriffen.  
Aber das ist alles geschehen,  
dass erfüllet würden  
die Schriften der Propheten.

あなたたちは、まるで殺人者に対するように、  
剣や棒を持って、  
私を捕らえにやって来た。  
私は毎日、あなたたちの側に座って、  
神殿の中で教えていたのに、  
あなたたちは私を捕らえなかったではないか。  
しかし、この全てのことが起こったのは、  
預言者たちの書いたことが  
実現するためなのだ。

福音史家： Da verließen ihn alle Jünger und flohen.

すると弟子たちは皆、イエスを見捨てて逃げ去った。

## Nr.29 第Ⅰ部終曲コラール

旋律：マティアス・グライター、 詞：ゼーバルト・ハイデン 「O Mensch, bewein dein Sünde groß」 第1節

O Mensch, bewein dein' Sünde groß,  
darum Christus sein's Vaters Schoß  
äußert und kam auf Erden;

von einer Jungfrau rein und zart  
für uns er hie geboren ward,  
er wollt' der Mittler werden.

Den Toten er das Leben gab  
und legt' dabei all' Krankheit ab,  
bis sich die Zeit herdrange,

dass er für uns geopfert würd',  
trüg' unsrer Sünden schwere Bürd'  
wohl an dem Kreuze lange.

おお人よ、汝の罪の大きいなることを嘆け。  
そのためにキリストは父の懐から  
現れ、地上に降りて来られたのだ。

純粋な優しい乙女から、  
私たちのためにこの世に生まれて、  
仲介者になろうとされたのである。

彼は死者たちに生命を与え、  
彼らからすべての病を取り去って下さった。  
時が迫るまで。

(時が来て) 彼は、私たちのために犠牲となり、  
私たちの罪の重荷を背負って下さった。  
十字架上において長い間、十分に。



## 第Ⅱ部

### Nr.30 アリア (アルト) & 合唱Ⅱ

Ach, nun ist mein Jesus hin!

合唱 **Wo ist denn dein Freund hingegangen,  
o du Schönste unter den Weibern?**

Ist es möglich, kann ich schauen?

合唱 **Wo hat sich dein Freund hingewandt?**

Ach, mein Lamm in Tigerklauen!  
Ach, wo ist mein Jesus hin?

合唱 **So wollen wir mit dir ihn suchen.**

Ach, was soll ich der Seele sagen,  
wenn sie mich wird ängstlich fragen?  
Ach, wo ist mein Jesus hin?

ああ、今や私のイエスは行ってしまった!

どこにあなたの恋人は行ってしまったのですか?  
おお、女たちのうちで最も美しい人よ

私は(彼を)見ることができるでしょうか?

どこへあなたの恋人は向かったのですか?

ああ、私の子羊は虎の爪にかかってしまった!  
ああ、どこへ私のイエスは行ってしまったのですか?

それでは我々もあなたと一緒に彼を探しましょう。

ああ、私は魂に何と言ったらよいのでしょうか、  
もし魂が私に不安そうに尋ねたら?  
ああ、どこに私のイエスは行ってしまったの?と。

## <大祭司の審問>

### Nr.31 (26:57-60)

福音史家： Die aber Jesum gegriffen hatten,  
führten ihn zu dem Hohenpriester Kaiphas,  
dahin die Schriftgelehrten  
und Ältesten sich versammelt hatten.  
Petrus aber folgte ihm nach von ferne  
bis in den Palast des Hohenpriesters  
und ging hinein  
und satzte sich bei die Knechte,  
auf dass er sähe, wo es hinaus wollte.  
Die Hohenpriester aber  
und Ältesten und der ganze Rat  
suchten falsche Zeugnis wider Jesum,  
auf dass sie ihn töteten, und funden keines.

さて、イエスを捕らえた人々は、  
彼を大祭司カイファのところへ連行した。  
そこには律法学者たちや  
長老たちが集まっていた。  
一方、ペテロは、大祭司の屋敷まで  
イエスの後を離れてついて行き、  
屋敷の中庭に入って、  
下僕たちの側に座り、  
ことの成り行きがどこに向かうか見ようとした。  
さて、祭司長たち、  
長老たち、そして最高法院の全議員は  
イエスに対する偽りの証拠を求め、  
彼を処刑しようとしたが、何も見つけれなかった。

**Nr.32** コラール

旋律：ゼトゥス・カルヴィズイウス、 詞：アダム・ロイスナー 「In dich hab ich gehofft, Herr」 第5節

Mir hat die Welt trüglich gericht'  
mit Lügen und mit falschem G'dicht,  
viel Netz' und heimlich Stricken.  
Herr, nimm mein wahr in dieser G'fahr,  
b'hüt mich für falschen Tücken!

世は私を偽りの裁きにかけた。  
嘘と、作り話で、  
多くの網と、秘密の綱で。  
主よ、この危険の中で、私を正しいと認めて、  
私を偽りの策略から守ってください。

**Nr.33** (26:60-63)

福音史家： Und wiewohl viel falsche Zeugen herzutraten,  
funden sie doch keins.  
Zuletzt traten herzu zween falsche Zeugen  
und sprachen:

多くの偽証人が現れたにもかかわらず、  
彼らは証拠を全く見つけられなかった。  
最後に二人の偽証人が現れて  
言った。

偽証人： Er hat gesagt:  
Ich kann den Tempel Gottes abbrechen  
und in dreien Tagen denselben bauen.

彼はこう言っていました。  
「私は神殿を打ち崩し、  
三日で建てることができる」と。

福音史家： Und der Hohepriester stund auf  
und sprach zu ihm:

そこで大祭司は立ち上がり、  
イエスに言った。

大祭司： Antwortest du nichts zu dem,  
das diese wider dich zeugen?

お前はこれに対して何も答えないのか？  
この者たちはお前に対し不利な証言をしているが？

福音史家： Aber Jesus schwieg stille.

しかしイエスは静かに黙っていた。

**Nr.34** レチタティーヴォ(テノール)

Mein Jesus schweigt  
zu falschen Lügen stille,  
um uns damit zu zeigen,  
dass sein Erbarmens voller Wille  
vor uns zum Leiden sei geneigt,  
und dass wir in dergleichen Pein  
ihm sollen ähnlich sein  
und in Verfolgung stille schweigen.

私のイエスは黙っている、  
偽りの証言に対して静かに。  
それによって、私たちに示すために。  
彼の慈悲に満ちた御心は  
私たちのために受難をする気があることを。  
また、私たちがそのような苦しみを受ける時には、  
イエスと同じように  
迫害の中でも静かに黙っているべきことを。

**Nr.35** アリア(テノール)

Geduld,  
wenn mich falsche Zungen stechen.  
Leid' ich wider meine Schuld  
Schimpf und Spott,  
ei, so mag der liebe Gott  
meines Herzens Unschuld rächen.

耐え忍べ、  
私を偽りの舌が刺すときも。  
私が、(いわれの無い)罪に対して、  
侮辱と嘲りを耐え忍ぶ時、  
ああ、そう、愛する神は  
私の心の無実を報いてくださるだろう。

**Nr.36a** (26:63-66)

福音史家： Und der Hohepriester antwortete  
und sprach zu ihm:

大祭司は(イエスの沈黙に)答えて  
彼に言った。

大祭司： Ich beschwöre dich bei dem lebendigen Gott,  
dass du uns sagest,  
ob du seiest Christus, der Sohn Gottes?

私は生ける神に誓ってお前に言う、  
我々に答えよ、  
お前は神の子たるキリストなのかどうか？

福音史家： Jesus sprach zu ihm:

イエスは彼に言った。

イエス： Du sagest's.  
Doch sage ich euch:

あなたがそう言っているのだ。  
しかし、わたしはあなた方に言う。

Von nun an wird's geschehen,  
dass ihr sehen werdet des Menschen Sohn  
sitzen zur Rechten der Kraft  
und kommen in den Wolken des Himmels.

今より後、起こることだが、  
あなた方は見るだろう、人の子が  
力ある方の右に座り、  
天の雲に乗って来るのを。

福音史家： Da zerriss der Hohepriester seine Kleider  
und sprach:

そこで、大祭司は自分の服を引き裂いて  
言った。

大祭司： Er hat Gott gelästert;  
was dürfen wir weiter Zeugnis?  
Siehe,  
itzt habt ihr seine Gotteslästerung gehört.  
Was dünket euch?

彼は神を冒瀆した。  
我々はこの以上の証拠が必要だろうか？  
見よ、  
今あなた方は神への冒瀆を聞いた。  
あなた方には何と思われるか？

福音史家： Sie antworteten und sprachen:

彼らは答えて言った。

**Nr.36b** (26:66) 合唱 I II (ユダヤ人たち)  
**Er ist des Todes schuldig!**

彼は、死罪だ！

**Nr.36c** (26:67-68)

福音史家： Da speieten sie aus in sein Angesicht  
und schlugen ihn mit Fäusten.  
Etliche aber schlugen ihn ins Angesicht  
und sprachen:

彼らは、イエスの顔に唾を吐き、  
彼を拳で殴った。  
何人かは彼の顔を殴って  
言った。

**Nr.36d** (26:68) 二重合唱 (ユダヤ人たち)  
**Weissage uns, Christe,  
wer ist's, der dich schlug?**

我々に言い当ててみる、キリストよ。  
お前を殴ったのは誰か？

**Nr.37** コラール 旋律B：ハインリヒ・イザーク、詞：パウル・ゲルハルト 「O Welt, sieh hier dein Leben」 第3節

Wer hat dich so geschlagen,  
mein Heil, und dich mit Plagen  
so übel zugericht'?  
Du bist ja nicht ein Sünder  
wie wir und unsre Kinder;  
von Missetaten weißt du nicht.

誰があなたをこのように打ったのですか？  
我が救いよ、誰があなたを苦しみでもって、  
そんなにもひどい目に合わせたのですか？  
あなたは罪人では決してありません、  
私たちや、私たちの子供らのように。  
あなたは悪事について何も知らないのです。

## <ペテロの否認>

**Nr.38a** (26:69-73)

福音史家： Petrus aber saß draußen im Palast;  
und es trat zu ihm eine Magd und sprach:

さて、ペテロは屋敷中庭の屋外に座っていた。  
そこへ一人の女中が彼に歩み寄って言った。

女中1： Und du warest auch mit dem Jesu aus Galiläa.

あなたは、あのガリラヤのイエスと一緒にいましたね。

福音史家： Er leugnete aber vor ihnen allen und sprach:

しかしペテロは皆の前でそれを否定して言った。

ペテロ： Ich weiß nicht, was du sagest.

あなたが何を言っているのか、私はわからない。

福音史家： Als er aber zur Tür hinausging,  
sah ihn eine andere  
und sprach zu denen, die da waren:

ペテロが門の方へ出て行くと、  
また一人の女中が彼を見て、  
そこに居た人々に言った。

女中2： Dieser war auch mit dem Jesu von Nazareth.

この人もあのナザレのイエスと一緒にいました。

福音史家： Und er leugnete abermal und schwur dazu: ペテロは再び否定して、さらに誓って言った。

ペテロ： Ich kenne des Menschen nicht. 私はその人を知らない。

福音史家： Und über eine kleine Weile  
traten hinzu, die da stunden,  
und sprachen zu Petro: 少しして、  
そこに立っていた人々が歩み寄ってきて、  
ペテロに言った。

**Nr.38b** (26:73) 合唱Ⅱ (ユダヤ人たち)

**Wahrlich, du bist auch einer von denen;  
denn deine Sprache verrät dich.** 確かに、お前もあの人たちの一人だ。  
なぜなら、お前の訛りがお前の正体をバラしているぞ。

**Nr.38c** (26:74-75)

福音史家： Da hub er an,  
sich zu verfluchen und zu schwören: 彼は、  
呪い、また誓い始めた。

ペテロ： Ich kenne des Menschen nicht. 私はその人を知らない。

福音史家： Und alsbald krähete der Hahn.  
Da dachte Petrus an die Worte Jesu,  
da er zu ihm sagte: すると直ちに、鶏が鳴いた。  
Ehe der Hahn krähen wird, ペテロは、イエスの言葉を思い出した。  
wirst du mich dreimal verleugnen. イエスは彼にこう言ったのだった。  
Und ging heraus und weinete bitterlich. 「鶏が鳴く前に、  
お前は三度私を否定するだろう」と。  
そしてペテロは外に出て、痛ましく泣いた。

**Nr.39** アリア (アルト)

Erbarme dich, mein Gott,  
um meiner Zähren willen ! 憐れみ給え、我が神よ、  
Schaue hier, 私  
Herz und Auge weint vor dir bitterlich. の涙ゆえに！  
ここをご覧ください。  
心も目もあなたの前で痛ましく泣いています。

**Nr.40** コラール 旋律：ヨハン・ショープ、 詞：ヨハン・フォン・リスト 「Werde munter, mein Gemüte」 第5節

Bin ich gleich von dir gewichen,  
stell' ich mich doch wieder ein;  
hat uns doch dein Sohn verglichen  
durch sein' Angst und Todespein.  
Ich verleugne nicht die Schuld;  
aber deine Gnad' und Huld  
ist viel größer als die Sünde,  
die ich stets in mir befinde.

私は、たとえあなた(神)から離れても、  
きっと再び、あなたの元に戻ってきます。  
あなたの御子が私たち(神と私)を仲介したのです。  
彼の恐れと死の苦しみによって。  
私は罪を否定しません。  
しかし、あなたの慈悲と恩顧は、  
罪よりはるかに大きいのです、  
私が常に私の中に見い出す罪よりも。

<ユダの後悔と自殺>

**Nr.41a** (27:1-4)

福音史家： Des Morgens aber hielten  
alle Hohenpriester und die Ältesten des Volks  
einen Rat über Jesum, dass sie ihn töteten.  
Und bunden ihn, führten ihn hin  
und überantworteten ihn  
dem Landpfleger Pontio Pilato.  
Da das sahe Judas, der ihn verraten hatte,  
dass er verdammt war zum Tode,  
gereuete es ihn,  
und brachte herwieder die dreißig Silberlinge  
den Hohenpriestern und Ältesten und sprach: さて、夜が明けると、  
全ての祭司長たちと民の長老たちは、  
イエスについて協議をして、彼を殺そうとした。  
そしてイエスを縛って連行していき、  
彼を総督ポンツィオ・ピラトに  
引き渡した。  
そのころ、イエスを裏切ったユダは、  
イエスが死の弾劾を受けたのを見て、  
後悔し、  
銀貨三十枚を祭司長たちや長老たちに  
返そうと持って行き、言った。

ユダ： Ich habe übel getan,  
dass ich unschuldig Blut verraten habe.

私は悪事を行ってしまいました。  
罪の無い人の血を裏切って売り渡したのです。

福音史家： Sie sprachen:

彼らは言った。

**Nr.41b** (27:4) 二重合唱 (祭司長たち・長老たち)

**Was gehet uns das an?  
Da siehe du zu!**

それが我々に何の関係があるか？  
お前、自分で見るがよい！

**Nr.41c** (27:5-6)

福音史家： Und er warf die Silberlinge in den Tempel,  
hub sich davon, ging hin  
und erhängete sich selbst.  
Aber die Hohenpriester  
nahmen die Silberlinge und sprachen:

そこで、ユダは銀貨を神殿に投げ込んで、  
そこから立ち去って行き、  
自ら首をつって死んだ。  
祭司長たちは  
銀貨を取って、言った。

祭司長ら： Es taugt nicht,  
dass wir sie in den Gotteskasten legen,  
denn es ist Blutgeld.

これは  
神殿の献金箱に入れるのには適さない。  
なぜならそれは血の代金だから。

**Nr.42** アリア(バス)

Gebt mir meinen Jesum wieder!  
Seht, das Geld, den Mörderlohn,  
wirft euch der verlorne Sohn  
zu den Füßen nieder!

私のイエスを返せ！  
見よ、この金が入殺しの報酬だ。  
放蕩息子はお前たちの足元に  
その金を投げ捨てたではないか！

**Nr.43** (27:7-10)

福音史家： Sie hielten aber einen Rat  
und kauften einen Töpfersacker  
darum zum Begräbnis der Pilger.  
Daher ist derselbige Acker genennet  
der Blutacker bis auf den heutigen Tag.  
Da ist erfüllet,  
das gesagt ist durch den Propheten Jeremias,  
da er spricht:  
„Sie haben genommen dreißig Silberlinge,  
damit bezahlet ward der Verkaufte,  
welchen sie kauften von den Kindern Israel,  
und haben sie gegeben  
um einen Töpfersacker,  
als mir der Herr befohlen hat.“

彼らは協議をして、  
(その金で)陶工の畑を買った。  
巡礼者の埋葬地にするためである。  
この事から、その畑は  
今日に至るまで血の畑と呼ばれている。  
こうして  
預言者エレミヤを通して語られたことが実現した。  
エレミヤはこう語っている。  
「彼らは銀貨三十枚を取り、  
それによって売られた者の代金を支払った。(売られた者は)  
彼らがイスラエルの子から買った者のことである。  
彼らは陶工の畑の  
代金を支払ったのである。  
主が私に命じたように。」と。

**<総督ピラトの尋問と判決>** (27:11-14)

Jesus aber stund vor dem Landpfleger;  
und der Landpfleger fragte ihn und sprach:

さて、イエスは総督の前に立った。  
総督はイエスに問うて言った。

ピラト： Bist du der Jüden König?

お前はユダヤ人の王なのか？

福音史家： Jesus aber sprach zu ihm:

イエスは総督に言った。

イエス： Du sagest's.

あなたがそう言っているのだ。

福音史家： Und da er verklagt war  
von den Hohenpriestern und Ältesten,  
antwortete er nichts.  
Da sprach Pilatus zu ihm:

イエスは祭司長や長老たちから  
訴えられていたが、  
何も答えなかった。  
するとピラトはイエスに言った。

ピラト： Hörest du nicht,  
wie hart sie dich verklagen?  
お前は聞こえないのか、  
どんなに厳しく彼らがお前を告発しているか？

福音史家： Und er antwortete ihm nicht auf ein Wort,  
also, dass sich auch  
der Landpfleger sehr verwunderte.  
だがイエスは彼に一言も答えなかった。  
それ故また、  
総督は大変不思議に思った。

**Nr.44** コラール 旋律C：ハンス・レオ・ハスラー、 詞：パウル・ゲルハルト 「Befiehl du deine Wege」 第1節 (本来は別旋律)

Befiehl du deine Wege und was dein Herze kränkt der allertreusten Pflege des, der den Himmel lenkt. Der Wolken, Luft und Winden gibt Wege, Lauf und Bahn, der wird auch Wege finden, da dein Fuß gehen kann.	委ねよ、お前は、お前の道と、 お前の心を傷つけていることを、 天を統べる方の 全く誠実なご加護に。 その方は雲に、大気に、そして風に対して、 道、道筋、軌道を与えてくださる。 その方が新たな道を見つけてくれるだろう、 お前の脚が歩むことのできる道を。
---	--

**Nr.45a** (27:15-22)

福音史家： Auf das Fest aber  
hatte der Landpfleger Gewohnheit,  
dem Volk einen Gefangenen loszugeben,  
welchen sie wollten.  
Er hatte aber zu der Zeit einen Gefangenen,  
einen sonderlichen vor andern,  
der hieß Barrabas.  
Und da sie versammelt waren,  
sprach Pilatus zu ihnen:  
さて、祭の間、  
総督には慣習があった。  
民衆が希望する囚人を一人  
釈放するというものである。  
そのころ、  
他の者よりも特別な(悪い)囚人がいた。  
彼の名はバラバといった。  
人々が集まって来た時、  
ピラトは彼らに言った。

ピラト： Welchen wollet ihr, dass ich euch losgebe?  
Barrabam oder Jesum,  
von dem gesaget wird, er sei Christus?  
お前たちは私がどちらを釈放することを望むか？  
バラバか、  
それともキリストであると言われているイエスか？

福音史家： Denn er wusste wohl,  
dass sie ihn aus Neid überantwortet hatten.  
Und da er auf dem Richtstuhl saß,  
schickete sein Weib zu ihm  
und ließ ihm sagen:  
というのは、ピラトはよく分かっていたのである。  
彼らがイエスを引き渡したのは嫉みからだ。  
また、ピラトが裁判の席に座っている時に、  
彼の妻が彼に使者を遣わして、  
彼に言わせた。

ピラト妻： Habe du nichts zu schaffen  
mit diesem Gerechten;  
ich habe heute viel erlitten  
im Traum von seinetwegen!  
あの正しい人と、  
事を構えないでください。  
彼のせいで、私は昨夜 (日没以後が“今日”なので heute)、  
夢の中で大変な苦痛を受けました。

福音史家： Aber die Hohenpriester und die Ältesten  
überredeten das Volk,  
dass sie um Barrabas bitten sollten  
und Jesum umbrächten.  
Da antwortete nun der Landpfleger  
und sprach zu ihnen:  
しかし、祭司長たちや長老たちは、  
群衆を説得していた。  
バラバの(釈放の)ために請願すべきだ、  
そしてイエスを殺そう、と。  
さて、総督は答えて  
彼らに言った。

ピラト： Welchen wollt ihr unter diesen zweien,  
den ich euch soll losgeben?  
この二人のうち、お前たちは、  
私がどちらを釈放すべきと主張するのか？

福音史家： Sie sprachen:  
彼らは言った。

合唱 I II (ユダヤ人たち)： **Barrabam !**  
バラバを！



福音史家 : Pilatus sprach zu ihnen:

ピラトは彼らに言った。

ピラト : Was soll ich denn machen mit Jesu,  
von dem gesagt wird, er sei Christus?

では、キリストであると言われるイエスについては、  
私はどうすべきなのか？

福音史家 : Sie sprachen alle:

彼らはこぞって言った。

**Nr.45b** (27:22) 合唱 I II (ユダヤ人たち)

**Lass ihn kreuzigen!**

彼を十字架につけろ！

**Nr.46** コラール 旋律 A : ヨハン・クリューガー、詞 : ヨハン・ヘールマン 「Herzliebster Jesu」 第 4 節

Wie wunderbarlich ist doch diese Strafe!  
Der gute Hirte leidet für die Schafe,  
die Schuld bezahlt der Herre,  
der Gerechte, für seine Knechte.

それにしても何と驚くべきことだ、この刑罰は！  
よい羊飼いが羊のために苦しみを受け、  
正しい人である主が  
彼の下僕のために、罪の償いをするとは！

**Nr.47** (27:23)

福音史家 : Der Landpfleger sagte:

総督は言った。

ピラト : Was hat er denn Übels getan?

いったい彼が何の悪事を行ったというのか？

**Nr.48** レチタティーヴォ (ソプラノ)

Er hat uns allen wohlgetan,  
den Blinden gab er das Gesicht,  
die Lahmen macht' er gehend,  
er sagt' uns seines Vaters Wort,  
er trieb die Teufel fort,  
Betrübte hat er aufgerichtet',  
er nahm die Sünder auf und an.  
Sonst hat mein Jesus nichts getan.

彼は我々皆を元気づけてくれました。  
彼は目の見えない人に視覚を与え、  
麻痺した人を歩いて行かせました。  
彼は私たちに彼の父の言葉を語り、  
悪魔を追い払い、  
悲しむ人を元気づけ、  
罪人を迎え入れました。  
それ以外に私のイエスは何もなさいませんでした。

**Nr.49** アリア (ソプラノ)

Aus Liebe will mein Heiland sterben,  
von einer Sünde weiß er nichts,  
dass das ewige Verderben  
und die Strafe des Gerichts  
nicht auf meiner Seele bliebe.

愛ゆえに、私の救い主は死のうとしておられます。  
彼は一つの罪も知らないのに。  
永遠の破滅と  
裁きの刑罰が  
私の魂の上にとどまらないように、と。

**Nr.50a** (27:23)

福音史家 : Sie schriegen aber noch mehr und sprachen:

しかし、群衆はさらに一層、叫んで言った。

**Nr.50b** 合唱 I II (ユダヤ人たち)

**Lass ihn kreuzigen!**

彼を十字架につけろ！

**Nr.50c** (27:24-25)

福音史家 : Da aber Pilatus sahe, dass er nichts schaffete,  
sondern dass ein viel größer Getümmel ward,  
nahm er Wasser und  
wusch die Hände vor dem Volk und sprach:

ピラトは、自分には何も事を切り抜けるすべはなく、  
かえってより大きな騒動が起こりそうだと見て、  
水を取り、  
民衆の前で両手を洗って、言った。

ピラト : Ich bin unschuldig  
an dem Blut dieses Gerechten, sehet ihr zu.

この正しい人の血について、  
私には責任がない。お前たち、自分で見るがよい。

福音史家 : Da antwortete das ganze Volk und sprach:      すると民衆全員が答えて言った。

**Nr.50d** 合唱 I II (ユダヤ人たち)

Sein Blut komme über uns und unsre Kinder.      彼の血は、我々とその子孫を襲うがいい。

<鞭打ち>

**Nr.50e** (27:26)

福音史家 : Da gab er ihnen Barrabam los;  
aber Jesum ließ er geißeln  
und überantwortete ihn,  
dass er gekreuziget würde.      そこで、ピラトは彼らにバラバを釈放してやり、  
一方、イエスを鞭打たせ、  
そして彼を十字架につけるために  
彼らに引き渡した。

**Nr.51** レチタティーヴォ (アルト)

Erbarm es Gott!  
Hier steht der Heiland angebunden.  
O Geißelung, o Schläg', o Wunden!  
Ihr Henker, haltet ein!  
Erweicht euch der Seelen Schmerz,  
der Anblick solches Jammers nicht?  
Ach ja, ihr habt ein Herz,  
das muss der Martersäule gleich  
und noch viel härter sein.  
Erbarmt euch, haltet ein!      神よ、憐れみを！  
ここに救い主は縛りつけられて立っておられる。  
おお、鞭打ち、殴打、傷！  
お前たち死刑執行人、やめろ！  
魂の痛みは、お前たちの心を動かさないのか？  
このような悲歎の光景は(心を動かさないのか)？  
ああ、そうだ！ お前たちは心を持っていても、  
それは拷問の柱と同じようなもの、  
それよりも一層苛烈なものに違いない。  
お前たちよ、憐れみを持って！ やめろ！

**Nr.52** アリア (アルト)

Können Tränen meiner Wangen  
nichts erlangen,  
o, so nehmt mein Herz hinein!  
Aber lasst es bei den Fluten,  
wenn die Wunden milde bluten,  
auch die Opferschale sein!      私の頬の涙が  
何の役にも立たないとしても、  
おお、私の心を受け入れてください！  
私の心を、その流れの側で使って下さい、  
その傷が緩やかに血を流す時、  
(その血を受ける)捧げ物の器として！

**Nr.53a** (27:27-29)

福音史家 : Da nahmen  
die Kriegsknechte des Landpflegers  
Jesum zu sich in das Richthaus  
und sammelten über ihn die ganze Schar  
und zogen ihn aus  
und legeten ihm einen Purpurmantel an  
und flochten eine dornene Krone  
und satzten sie auf sein Haupt  
und ein Rohr in seine rechte Hand  
und beugeten die Knie vor ihm  
und spotteten ihn und sprachen:      それから、  
総督の兵士たちは、  
イエスを総督官邸の中に引き入れ、  
部隊全員をイエスの周りに集めた。  
そして、イエスの服を脱がして、  
紫の外套を着せ、  
茨の冠を編んで、  
それを彼の頭に載せ、  
また、右手に葦を持たせて、  
彼の前にひざまずき、  
彼を嘲って言った。

**Nr.53b** 二重合唱 (兵士たち)

Gegrüßet seist du, Jüdenkönig !      ごきげんよう、ユダヤの王よ！

**Nr.53c** (27:30)

福音史家 : Und speieten ihn an und nahmen das Rohr  
und schlugen damit sein Haupt.      また、彼に唾を吐き、葦を取り上げて、  
それで彼の頭を叩いた。

**Nr.54** コラール

旋律C: ハンス・レオ・ハスラー、 詞: パウル・ゲルハルト 「O Haupt voll Blut und Wunden」 第1・2節

O Haupt voll Blut und Wunden,  
voll Schmerz und voller Hohn,  
o Haupt, zu Spott gebunden  
mit einer Dornenkron',  
o Haupt, sonst schön gezieret  
mit höchster Ehr' und Zier,  
jetzt aber hoch schimpfieret,  
gegrüßet seist du mir!

Du edles Angesichte,  
dafür sonst schrickt und scheut  
das große Weltgewichte,  
wie bist du so bespeit,  
wie bist du so erbleicht!  
Wer hat dein Augenlicht,  
dem sonst kein Licht nicht gleicht,  
so schändlich zugericht'?

おお、血と傷にまみれた御頭よ、  
苦痛と、嘲笑に充ちた(御頭よ)、  
おお、嘲りのために  
茨の冠で縛られた御頭よ、  
おお、御頭よ、さもなければ美しく  
最高の荣誉と誇りで飾られていたのに、  
今や甚だしく辱められた(御頭よ)、  
私の心からの挨拶を受け入れてください。

汝、気高き御顔よ、  
いつもなら世の権威すらも  
(あなたの御顔に) 畏怖し驚くものを。  
あなたはかくも唾をかけられ、  
何と蒼ざめておられることか！  
あなたの眼の輝き、  
それは本来、どんな光とも比べられないものなのに、  
誰が、そんなにも卑劣に損ねたのですか？

## &lt;ゴルゴタ・十字架&gt;

**Nr.55** (27:31-32)

福音史家: Und da sie ihn verspottet hatten,  
zogen sie ihm den Mantel aus  
und zogen ihm seine Kleider an  
und führten ihn hin, dass sie ihn kreuzigten.  
Und indem sie hinausgingen,  
funden sie einen Menschen von Kyrene  
mit Namen Simon;  
den zwungen sie,  
dass er ihm sein Kreuz trug.

彼ら(兵士たち)はイエスを嘲弄して、  
外套を脱がせて、  
彼の(元の)服を着せ、  
彼を十字架につけるために連行して行った。  
彼らは、出て行く時に、  
シモンという名前の  
キレネ人を見いだし、  
彼に強制して、  
イエスの十字架を担がせた。

**Nr.56** レチタティーヴォ (バス)

Ja freilich will in uns das Fleisch und Blut  
zum Kreuz gezwungen sein;  
je mehr es unsrer Seele gut,  
je herber geht es ein.

そう、もちろん、私たちの中の肉と血は  
十字架につけられることを強いられるだろう。  
私たちの魂にとって良いものほど、  
結局、より苦いものになるのだから。

**Nr.57** アリア (バス)

Komm, süßes Kreuz, so will ich sagen,  
mein Jesu, gib es immer her!  
Wird mir mein Leiden einst zu schwer,  
so hilfst du mir es selber tragen.

来たれ甘き十字架よ、そう私は言おう。  
私のイエスよ、それを私にずっと背負わせてください。  
いつか、私の苦難が私に重すぎるものになったら、  
私が自分で背負えるよう助けてください。

**Nr.58a** (27:33-40)

福音史家: Und da sie an die Stätte kamen  
mit Namen Golgatha,  
das ist verdeutschet Schädelstätt,  
gaben sie ihm Essig  
zu trinken mit Gallen vermischet;  
und da er's schmeckete,  
wollte er's nicht trinken.  
Da sie ihn aber gekreuziget hatten,  
teilten sie seine Kleider  
und wurfen das Los darum,

そして彼らは、  
ゴルゴタという名の、  
翻訳すると「されこつべの場所」という所に来ると、  
イエスに、胆汁を混ぜた酢(になった葡萄酒)を  
与え飲ませようとしたが、  
イエスはなめただけで、  
飲もうとはしなかった。  
さて、彼らはイエスを十字架につけると、  
彼の服を分け、  
そのために籤を引いた。

auf dass erfüllet würde,  
das gesagt ist durch den Propheten:  
„Sie haben meine Kleider unter sich geteilet,  
und über mein Gewand  
haben sie das Los geworfen.“  
Und sie saßen allda und hüteten sein.  
Und oben zu seinen Häupten hefteten sie  
die Ursach' seines Todes beschrieben,  
nämlich: „Dies ist Jesus, der Jüden König.“  
Und da wurden zween Mörder  
mit ihm gekreuziget,  
einer zur Rechten und einer zur Linken.  
Die aber vorübergingen, lästerten ihn  
und schüttelten ihre Köpfe und sprachen:

**Nr.58b** (27:40) 二重合唱 (通りかかった人たち)

**Der du den Tempel Gottes zerbrichst  
und bauest ihn in dreien Tagen,  
hilf dir selber!  
Bist du Gottes Sohn,  
so steig herab vom Kreuz!**

それは、預言者によって語られたことが  
実現するためであった。  
「彼らは私の服を分け合い、  
私の衣服のことで  
籤を引いた」と。  
そして彼らはそこに座って見張りをした。  
イエスの頭の上には、  
彼の死罪の理由が書かれたものを掲げた。  
すなわち、「これはイエス、ユダヤ人の王である」と。  
その時、二人の殺人者が  
イエスとともに十字架につけられていた。  
一人は右に、もう一人は左に。  
さて、そこを通りかかった人々は、イエスを罵り、  
頭を振って、言った。

神殿を打ち倒し、  
三日でそれを建てる者よ。  
自分を救ってみろ！  
お前が神の子なら、  
十字架から降りて来い！

**Nr.58c** (27:41)

福音史家： Desgleichen auch  
die Hohenpriester spotteten sein,  
samt den Schriftgelehrten und Ältesten,  
und sprachen:

同じように、  
祭司長たちもまた、  
律法学者や長老たちと一緒に、(イエスを)嘲って  
言った。

**Nr.58d** (27:42-43) 二重合唱 (祭司長たち、および律法学者・長老たち)

**Andern hat er geholfen  
und kann ihm selber nicht helfen.  
Ist er der König Israel,  
so steige er nun vom Kreuz,  
so wollen wir ihm glauben.  
Er hat Gott vertrauet,  
der erlöse ihn nun, lüsted's ihn;  
denn er hat gesagt:  
Ich bin Gottes Sohn.**

あの男は他人のことは救ったのに、  
自分自身を救えない。  
イスラエルの王なら、  
今すぐ十字架から降りてこい。  
そうすれば信じてやろう。  
彼は、神を信賴している。  
神よ、お望みなら、今すぐ彼を救ってやれ。  
なぜなら、彼はこう言っていたのだから。  
「私は神の子だ」と。

**Nr.58e** (27:44)

福音史家： Desgleichen schmäheten ihn  
auch die Mörder,  
die mit ihm gekreuziget waren.

一緒に十字架につけられた  
殺人者たちもまた、  
同じようにイエスを誹謗した。

**Nr.59** レチタティーヴォ (アルト)

Ach Golgatha, unsel'ges Golgatha!  
Der Herr der Herrlichkeit  
muss schimpflich hier verderben,  
der Segen und das Heil der Welt  
wird als ein Fluch ans Kreuz gestellt.  
Der Schöpfer Himmels und der Erden  
soll Erd und Luft entzogen werden.  
Die Unschuld muss hier schuldig sterben,  
das gehet meiner Seele nah.  
Ach Golgatha, unsel'ges Golgatha!

ああゴルゴタよ、呪われたゴルゴタよ！  
栄光の主は  
ここで屈辱的に死なねばならない。  
この世の祝福と救いは  
十字架に呪いとして架けられた。  
天と地の創造者は、  
大地と大気を奪われることになる。  
無罪の人がここで有罪で死ななければならず、  
それが私の魂を悲しませるのだ。  
ああゴルゴタよ、呪われたゴルゴタよ！

**Nr.60** アリア (アルト) & 合唱Ⅱ

Sehet, Jesus hat die Hand,  
uns zu fassen, ausgespannt. Kommt!

見よ、イエスは、私たちが抱こうと、  
その手を広げました。来なさい！

合唱 **Wohin ?**

どこへ？

In Jesu Armen  
sucht Erlösung, nehmt Erbarmen, suchet

イエスの腕の中へ  
救いを求め、憐れみを受けよ。求めよ！

合唱 **Wo ?**

どこに？

in Jesu Armen!  
Lebet, sterbet, ruhet hier,  
ihr verlassenen Küchlein ihr, bleibet

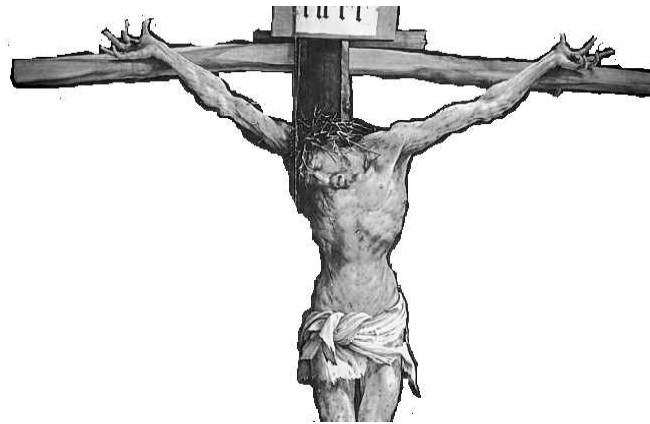
イエスの腕の中に。  
ここで、生き、死に、憩いなさい。  
汝ら見捨てられた雛鳥たちよ。留まりなさい！

合唱 **Wo ?**

どこに？

in Jesu Armen!

イエスの腕の中に。



マティアス・グリューネヴァルト  
「イーゼンハイムの祭壇画」より

**<イエスの死>**

**Nr.61a** (27:45-47)

福音史家： Und von der sechsten Stunde an  
war eine Finsternis über das ganze Land  
bis zu der neunten Stunde.  
Und um die neunte Stunde  
schrie Jesus laut und sprach:

さて、第6時(=正午)から後、  
暗闇が全地を覆い、  
それが第9時(=午後三時)まで続いた。  
第9時頃、  
イエスは大声で叫んで言った。

イエス： Eli, Eli, lama asabthani ?

エリ、エリ、ラマ、サバクタニ？

福音史家： Das ist : Mein Gott, mein Gott,  
warum hast du mich verlassen?  
Etliche aber, die da stunden,  
da sie das hörten, sprachen sie:

これは、「わが神よ、わが神よ、  
なぜ私を見捨てたのですか？」という意味である。  
だが、そこに立っていた何人かは、  
これを聞いて、言った。

**Nr.61b** (27:47) 合唱Ⅰ

**Der rufet dem Elias !**

彼はエリヤに呼びかけているのだ！

**Nr.61c** (27:48-49)

福音史家： Und bald lief einer unter ihnen,  
nahm einen Schwamm  
und füllte ihn mit Essig  
und steckte ihn auf ein Rohr  
und tränkete ihn.  
Die andern aber sprachen.

するとすぐに彼らの一人が走りよって、  
海綿を取って  
酢(になった葡萄酒)を含ませ、  
それを葦の先に付けて差し出し、  
彼に飲ませた。  
だが、他の人々は言った。

**Nr.61d** (27:49) 合唱Ⅱ

**Halt ! Lass sehen,  
ob Elias komme und ihm helfe ?**

待て！見ていよう。  
エリアが来て彼を救うかどうかを。

**Nr.61e** (27:50)

福音史家：Aber Jesus schrie abermal laut  
und verschied.

だが、イエスは再び大声で叫び、  
そして息を引き取った。

**Nr.62** コラール 旋律C：ハンス・レオ・ハスラー、 詞：パウル・ゲルハルト 「O Haupt voll Blut und Wunden」 第9節

Wenn ich einmal soll scheiden,  
so scheid nicht von mir.  
Wenn ich den Tod soll leiden,  
so tritt du denn herfür !  
Wenn mir am allerbängsten  
wird um das Herze sein,  
so rei mich aus den Ängsten  
kraft deiner Angst und Pein !

いつか私が(この世から)去るべき時、  
私から離れないでください。  
私が死に苦しまねばならぬ時、  
その時は、姿を現してください！  
私が、この上ない不安によって  
心を包圍されるであろう時、  
私を不安から引きはがして下さい！  
あなたの不安と苦痛の力によって。

**Nr.63a** (27:51-54)

福音史家：Und siehe da,  
der Vorhang im Tempel zerriss in zwei Stück  
von oben an bis unten aus.  
Und die Erde erbebete,  
und die Felsen zerrissen,  
und die Gräber taten sich auf,  
und stunden auf viel Leiber der Heiligen,  
die da schliefen,  
und gingen aus den Gräbern  
nach seiner Auferstehung  
und kamen in die heilige Stadt  
und erschienen vielen.  
Aber der Hauptmann  
und die bei ihm waren  
und bewahren Jesum,  
da sie sahen das Erdbeben  
und was da geschah,  
erschranken sie sehr und sprachen:

すると見よ、  
神殿の垂れ幕が上から下まで  
真っ二つに裂けた。  
そして大地が震え、  
岩が裂け、  
墓が開いて、  
そこで眠っていた多くの聖者たちの体が  
目覚め立ち上がった。  
そして、イエスの復活の後、  
墓から出て来て  
聖なる都に行き  
多くの人々の前に現れた。  
さて、百人隊長と、  
彼とともにいて  
イエスを見張っていた人たちは、  
地震や  
起こった事を見て、  
大変に驚いて、言った。

**Nr.63b** (27:54) 合唱

**Wahrlich, dieser ist Gottes Sohn gewesen.**

真に、この人は神の子だったのだ。

<降架と埋葬>

**Nr.63c** (27:55-58)

福音史家：Und es waren viel Weiber da,  
die von ferne zusahen,  
die da waren nachgefolget aus Galiläa  
und hatten ihm gedientet,  
unter welchen war Maria Magdalena,  
und Maria, die Mutter Jacobi und Josefs,  
und die Mutter der Kinder Zebedäi.  
Am Abend aber kam  
ein reicher Mann von Arimathia,  
der hieß Joseph,

またそこには、大勢の婦人たちがいて、  
遠くから見ていた。  
この婦人たちは、ガリラヤからイエスに従って来て、  
彼に仕えていたのである。  
その中には、マグダラのマリア、  
ヤコブとヨセフの母マリア、  
ゼベダイの子たちの母がいた。  
さて、夕暮れになり、  
アリマティアの金持ちの男で  
ヨセフという人が来た。

welcher auch ein Jünger Jesu war,  
der ging zu Pilato  
und bat ihn um den Leichnam Jesu.  
Da befahl Pilatus,  
man sollte ihm ihn geben.

この人もまたイエスの弟子であった。  
彼はピラトのところに行って、  
イエスの遺体を求めて、ピラトに願い出た。  
そこでピラトは、  
ヨセフにイエスの遺体を渡すべし、と命じた。

#### Nr.64 レチタティーヴォ (バス)

Am Abend, da es kühle war,  
ward Adams Fallen offenbar;  
am Abend drücket ihn der Heiland nieder.  
Am Abend kam die Taube wieder  
und trug ein Ölblatt in dem Munde.  
O schöne Zeit! O Abendstunde!  
Der Friedensschluss ist nun  
mit Gott gemacht,  
denn Jesus hat sein Kreuz vollbracht.  
Sein Leichnam kömmt zur Ruh,  
ach, liebe Seele, bitte du,  
geh, lasse dir den toten Jesum schenken,  
o heilsames, o köstlich's Angedenken!

夕暮れの涼しい時、  
アダムの墮落は明らかになった。  
夕暮れに、救い主はその墮落を克服された。  
夕暮れに、鳩が戻ってきた、  
そして一枚のオリーブの葉を口にくわえていた。  
おお、美しい時よ！ おお、夕暮れの時！  
平和の結末が今、  
神とともに完成した。  
イエスが十字架を成し遂げたからである。  
彼の亡骸は、安らぎに向かう。  
ああ、愛する魂よ、願うがよい。  
行って、死んだイエスをお前に賜るように。  
おお、救いとなる、貴重な形見よ！

#### Nr.65 アリア (バス)

Mache dich, mein Herze, rein,  
ich will Jesum selbst begraben.  
Denn er soll nunmehr in mir  
für und für  
seine süße Ruhe haben.  
Welt, geh aus, lass Jesum ein!

私の心よ、汝を清めよ。  
私はイエスを自ら(の内に)葬ろう。  
なぜなら彼は、今や、私の内で  
永遠にいつまでも  
甘い憩いを享受し続けるのだから。  
世よ、出て行け。イエスを中へ迎え入れよ！

#### Nr.66a (27:59-63)

福音史家: Und Joseph nahm den Leib  
und wickelte ihn in ein rein Leinwand  
und legte ihn in sein eigen neu Grab,  
welches er hatte lassen in einen Fels hauen,  
und wälzete einen großen Stein  
vor die Tür des Grabes und ging davon.  
Es war aber allda Maria Magdalena  
und die andere Maria,  
die satzten sich gegen das Grab.  
Des andern Tages,  
der da folget nach dem Rüsttage,  
kamen die Hohenpriester und Pharisäer  
sämtlich zu Pilato und sprachen:

ヨセフはイエスの遺体を受け取ると、  
それをきれいな亜麻布に包み、  
ヨセフ自身の新しい墓の中に横たえた。  
それは彼が岩を掘って作らせたものであった。  
墓の入口には大きな石を転がしておき、  
立ち去った。  
しかし、マグダラのマリアと  
もう一人のマリアはそこにいて、  
墓の方を向いて座っていた。  
明るる日、  
すなわち、「安息日の準備の日」の翌日、  
祭司長たちとファリサイ派の人々は、  
皆残らず、ピラトのところに来て、言った。

#### Nr.66b (27:63-64) 合唱 I II

**Herr, wir haben gedacht,  
dass dieser Verführer sprach,  
da er noch lebete:  
Ich will nach dreien Tagen  
wieder auferstehen.  
Darum befiehl,  
dass man das Grab verwahre  
bis an den dritten Tag,  
auf dass nicht seine Jünger kommen  
und stehlen ihn und sagen zu dem Volk:**

閣下、私たちは思い出しました。  
この誘惑者は  
生前言っていました、  
「自分は三日後に  
復活するだろう」と。  
ですから、命令してください、  
三日目まで  
墓を見張るように、と。  
そうでないと、弟子たちが来て  
死体を盗み出し、民衆に言いふらすかもしれません。

**Er ist auferstanden von den Toten,  
und werde der letzte Betrug  
ärger denn der erste!**

「イエスは死者の中から復活した」と。  
そうなると、今度のその詐欺は、  
以前よりもっとひどくなるでしょう。

**Nr.66c** (27:65-66)

福音史家 : Pilatus sprach zu ihnen:

ピラトは彼らに言った。

ピラト : Da habt ihr die Hüter;  
gehets hin und verwahret's, wie ihr's wisset!

お前たちには番兵がいるのだから、  
行って墓を見張らせよ。お前たちの思うように。

福音史家 : Sie gingen hin  
und verwahreten das Grab mit Hütern  
und versiegelten den Stein.

彼らは行って  
番兵をつけて墓を見張らせ、  
墓の石に封印をした。

**Nr.67** 独唱 & 合唱Ⅱ

Baß : Nun ist der Herr zur Ruh gebracht.

今や主は憩いに至りました。

Ten : Die Müh' ist aus,  
die unsre Sünden ihm gemacht.

苦労は終わりました、  
我々の罪が彼にもたらした(苦労は)。

Alt : O selige Gebeine, seht,  
wie ich euch mit Buß und Reu beweine,  
dass euch mein Fall in solche Not gebracht!

おお、聖なる亡骸よ。見よ、如何に私が、  
懺悔と後悔とともに、あなたを悼んでいるかを。  
私の墮落が、あなたにこんな苦痛をもたらしたのです。

Sop : Habt lebenslang  
vor euer Leiden tausend Dank,  
dass ihr mein Seelenheil  
so wert geacht'!

命ある限りずっと、  
あなたの受難にたくさん感謝を捧げます。  
あなたは、私の魂の救いを、  
こんなに大切に配慮して下さいましたのでから。

合唱 : Mein Jesu, gute Nacht !

私のイエスよ、おやすみなさい !

**Nr.68** 終曲二重合唱

**Wir setzen uns mit Tränen nieder  
und rufen dir im Grabe zu:  
Ruhe sanfte, sanfte ruh'!**

私たちは涙してひざまずき  
そして、墓の中のあなたに呼びかけます。  
安らかにお休みください、安らかに。

**Ruht, ihr ausgesognen Glieder!  
Ruhet sanfte, ruhet wohl!**

お休みください、疲れ果てた御体よ !  
安らかにお休みください、心地よく !

**Euer Grab und Leichenstein  
soll dem ängstlichen Gewissen  
ein bequemes Ruhkissen  
und der Seelen Ruhstatt sein.**

あなたの墓と墓石は、  
不安げな良心にとって  
心地よい憩いの枕、  
魂の憩いの場となるべきもの。

**Ruhet sanfte, sanfte ruht!**

安らかにお休みください、安らかに !

**Höchst vergnügt  
schlummern da die Augen ein.**

この上なく麗らかに、  
その眼はそこで眠りにつくでしょう。

訳 : 山岸 健一 (仙台宗教音楽合唱団)

